授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
臨床薬理学	2年次	前期	1	30	有

科目責任者	石渡正男
授業概要	薬の基本的な概念を把握し、薬物療法（薬を用いている）を受けている患者の心身の観察視点を理解し、医療チームの一員として必要な情報提供ができる能力を養うことを狙いとする。適宜演習を取り入れ学生が授業に参加しながら行うことがある。
目標	1．薬剤の基礎知識と投与方法の原則を知る。 2．作用・副作用発見のための知識を身につけることができる。 3．看護師が取り扱う与薬や消毒液の安全な方法を知る。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	薬理学を学ぶにあたって、薬と法律（麻薬）	石渡	講義
2	薬が作用するしくみ、薬の体内の挙動	石渡	講義
3	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性	石渡	講義
4	抗感染症薬	石渡	講義
5	抗がん薬	石渡	講義
6	免疫治療薬、抗アレルギー薬・抗炎症薬	石渡	講義
7	抹消での神経活動に作用する薬物	石渡	講義
8	中枢神経系に作用する薬物（麻薬）	石渡	講義
9	心臓・血管系に作用する薬物	石渡	講義
10	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物	石渡	講義
11	物質代謝に作用する薬物	石渡	講義
12	皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	石渡	講義
13	救急の際に使用される薬物、輸液製剤・輸血製剤	石渡	講義
14	看護業務に必要な薬の知識（処方箋・添付文書）、看護師の与薬業務にかかわるリスク（事例から学ぶ）	石渡	講義
15	試験	石渡	—

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病の成り立ちと回復の促進③　医学書院 系統看護学講座　別巻　臨床薬理学　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験（100%）